



「大耶馬溪博覧会」第三弾

企画展「土豪の城-豊前武士と戦国動乱-」について

担当：歴史博物館 浦井（電話 0979-23-8615）

豊前国と豊後国の境目の地にある中津は、大勢力の狭間にあり、多くの土豪（地域の有力武士）たちにより土塁や堀といった防衛施設をもつ居館跡や山城跡が築られました。中津では14世紀から城の語が古文書に見えはじめ、それは領主たちの居館であり戦（いくさ）の場として登場します。本展覧会では、中津市域における中近世城館跡の調査成果をもとに、戦国時代から近世初頭に築かれた城や激動の時代を生き抜いた土豪の実像に迫ります。

展示構成

第1章

14世紀～16世紀代、地域に根を下ろした豊前武士たちにスポットを当て、有力武士の城や野仲氏の足跡についても取り上げる。

第2章

天正15年（1587）、新領主となった黒田氏に反感を抱いた武士たちの多くは、一揆を起こして反抗した。野仲氏・賀来氏・福嶋氏らの反乱は黒田氏や応援に駆け付けた吉川軍により平定される。この際、鎮圧軍による織豊系の陣跡・三保山城跡などが新たに築かれた。

第3章

反乱を鎮圧した黒田氏は中津城や領内に支城を築き統治を進めた。中津の地は秀吉から朝鮮半島へ出兵を命ぜられた黒田氏の拠点としての新たな顔を見せ始める。関ヶ原の戦い後、黒田氏は筑前へ転封。武士たちが一所に安住する時代は終焉を迎えた。

展示物（一部）

豊臣秀吉朱印状（国指定重要文化財）・大坂城跡出土金箔瓦・長岩城跡関連資料など約30件

開催概要

期 間：令和4年9月23日（金・祝）～11月6日（日）

休 館 日：月曜日（祝日の場合はその翌日）

開館時間：9時～17時（入館は16時30分まで）

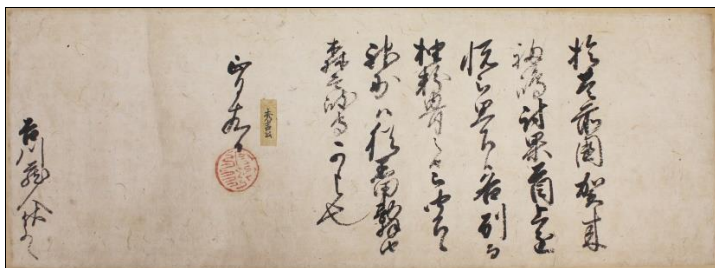
※11月6日（日）は19時まで開館（入館は18時30分まで）

会 場：中津市歴史博物館

観 覧 料：高校生以上300円（団体20名以上100円）、中学生以下無料

報道向け展示解説

令和4年9月23日（金・祝）16時～ 展示室前にお越しください。



吉川広家が賀来氏・福嶋氏を討ち果たしたことを、豊臣秀吉がほめた書状。

【豊臣秀吉朱印状（吉川史料館蔵）】



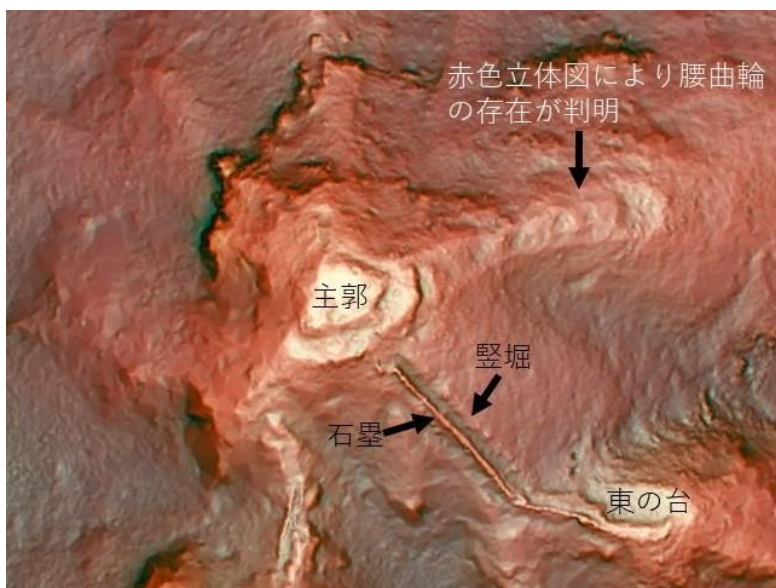
大坂城跡三ノ丸から出土した金箔桐文飾瓦。

【大坂城跡出土金箔瓦】



長岩城は有力在地領主・野仲氏の詰城で大分県指定史跡。黒田軍によって滅ぼされた。写真は東の台から主郭方向に伸びる石垣。

【長岩城跡石塁】



赤色立体図により腰曲輪の存在が判明

主郭

豎堀

石塁

東の台

赤色立体図：上空から航空レーザーを照射し、地形の凹凸を測定した地図。これによりこれまで知られていなかった腰曲輪を新たに発見。

【長岩城跡赤色立体図（主郭部）】